



小規模多機能ここさいむら美の里
課長（管理者／統括マネージャー）

庄司 智子

2006年（平成18年）、株式会社ここみケアに入社した庄司智子は、デイサービスで経験を積んだ後、7年ほど前から小規模多機能ここさいむら美の里に配属となった。庄司はそこで小規模多機能型居宅介護を初めて知り、幅広いサービスで利用者の暮らしをバックアップできることを実感。在宅介護サービスのさらなる可能性を探究し続ける、その姿に迫った。

在宅介護に興味を持ち入社

前職では有料老人ホームで、介護職員兼フロアリーダーとして仕事に携わった。介護が必要な人が暮らす場所で役に立つことができたら、とホームの仕事を選んだが、実際に現場に入ると「どうしてこの方は自宅でも生活できるはずなのに、入所しなければならぬのだろう」と、疑問に思う場面が多々あったという。

「在宅介護の現場をもっと知りたい」。

庄司は、自宅で暮らす人たちの生活をサポートするために、デイサービスの仕事をしようと転職を

決意。縁あってここみケアに入社した。

利用者の生活に寄り添ったサービスを

入社後に携わったデイサービスでは、利用者が来所している時間でサービスが完結する。時間が区切られる分、提供できるサービスも限られる。「楽しい時間を過ごしてもらおうのはいいが、もう少し違うケアの方法があるのではないか」と感じることもあった。デイサービスの管理者業務に携わる傍ら、ケアマネージャーの勉強を続け資格を取り、7年ほど前に小規模多機能ここさいむら美の里に異動した。

当初は、小規模多機能のシステムがとて複雑に感じられ、日々の業務は手探り状態だったという。利用者は来所してもいいし、訪問を受けてもいい。必要であれば泊まることもできる。これといった縛りはなく、さまざまな利用方法がある。そんな中、はたして自分は、各個人の状況に合わせて対応ができているのかと、不安に思うこともあった。

仕事を通して多くの人たちと接し、サービスを提供していく中で、庄司は美の里でのやり方は間違っ
てはいなかったと確信を持つよう
になった。美の里の持つ強みは、
スタッフの柔軟な対応に支えられ
たサービスだ。例えば、朝起きる
時間は利用者によってまちまちで
あるため、それに合わせるには一
件ごとに異なる時間に訪問する必
要がある。複雑なスケジュールに
なるが、ここではスタッフが快く
受け入れる体制ができていたの
だ。庄司は自信を持って「うちの
サービスが一番」と、胸を張って
言えるようになった。

「美の里では利用者様の生活リ
ズムを変えることなく、必要な部



分にピンポイントでサービスを提
供できます。利用者の暮らし全般
を臨機応変に支える小規模多機能
ならではのサービスに、私は奥深
いものを感じ、面白いと思うよう
になりました」。

地域との繋がりを大切に

現在は多賀城・石巻拠点統括マ
ネージャーとして業務に取り組む
庄司だが、小規模多機能のサービ
スを通して地域との関わりが増え
ると、介護サービスの理想につい
て考える時間が多くなった。

「家族、そしていずれ自分に介護
が必要になったとき、本当に使い
たいと思えるサービスを提供した
いと思っています。その目標が介
護の仕事を続けるモチベーション
にもなっています」。

理想の介護の形は、介護サービ
スを使わなくとも、ある程度まで
は地域の支えで生活ができるとい
うもの。ここ数年はコロナ禍で中
断していたが、事業所で地域向け
のイベントを行ったり、逆に地域
のイベントに参加したりすること
もある。庄司は認知症サポーター
養成講座の講師をしており、市民



に認知症への理解を深める活動も
積極的に行っている。

「介護サービスは地域からぼつ
んと切り離された存在になりが
ち。その壁を解消していきたいと
思っています。小規模多機能も、
グループホームも、デイサービス
も、地域の人たちが気軽に来て相
談できる、遊んでいける、そんな
双方向で出入りできるようなサー
ビスになれば、もっと利用しやす
くなるのではないのでしょうか」。

理想の事業所づくりを 目指して

ここみケアでは美の里の他に2
拠点の小規模多機能のサービスを
行っているが、地域には特性があ
り同じように展開するのは難しい

のが現状だ。

「それぞれの地域に根ざした事
業所の形に持っていければ、サー
ビスの内容も動き方も変わってき
て、ひいては働くスタッフのモチ
ベーションも上がってくると思い
ます」。

美の里はいち早くサービスを始
めたということもあり、ノウハウ
やサポート体制はある程度整って
いる。そして、今まで蓄積してき
た技術や知識を存分に発揮し、各
拠点をサポートしていきたいと考
えている。

今後も仕事への情熱を胸に、介
護職のプロフェッショナルとして
輝き続ける庄司の躍進から目が離
せない。



庄司課長ってどんな人？

今回巻頭インタビューを飾った庄司課長。その魅力をもっと知るべく、縁のある方々を代表して3名にお話をお聞きしました！

Q1. 庄司課長を一言で表すと？

道標

Q2. 庄司課長の「すごいところ」を教えてください！

目指すべき場所、目的や目標を明確に示し、そこに至るまでの手段や手法と一緒に考えてくださいます。庄司課長ご自身の経験に基づく実例を交えての説明はとてもわかりやすく、勉強になっています。また、複数の選択肢を提案することで考える余地も残していただけるので「期待に応えよう！」という気持ちに導いてくださるところがすごいと思います。

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

まだ何かを成し遂げたり、特筆すべき成果を上げたりしていないので、良い思い出に残るような何かを達成できればと考えています。これからですね！



グループホーム
ここさいむら青葉
管理者/係長
やまだ だい
山田 大さん

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

お忙しいなか、毎週石巻まで来て相談に乗っていただきありがとうございます！GH青葉の運営が庄司課長の心の安定剤になるよう、皆で頑張ります！

Q1. 庄司課長を一言で表すと？

ボス！

Q2. 庄司課長の「すごいところ」を教えてください！

頭の回転の速さ！迷いがいい！どしどししている！死ぬほど忙しいはずなのに、隙を見て、私たちにちょっかいを出してくるところ(笑)

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

庄司さんが美の里の管理者になってからの初の花見行事。ご利用者の皆さんと温泉に入ってきたと聞いたとき、介護職としての世界が広がりました。危険がないか見極めながらも、柔軟な対応でご利用者の生活は変わる！

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

ビシッと締めながらも、安心してのびのび仕事ができるような雰囲気を作ってくれる庄司課長。美の里のチームワークの良さも庄司さんがいるからこそ。ボス！これからもよろしくお願いします。

小規模多機能
ここさいむら美の里
いとう あずさ
伊藤 梓さん

Q1. 庄司課長を一言で表すと？

美の里のボス！

Q2. 庄司課長の「すごいところ」を教えてください！

常に冷静。判断力がすばらしいと尊敬しています。介護関係はもちろん、他のこともたくさん情報をお持ちでどんな相談にも答えてくれます。また厳しいだけでなく、場を和らげるユーモアにも助けられています。

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

自分には困難な対応も、角度を変えてのアドバイスで乗り越えられました。仕事以外ではおいしいものやお店情報、イベント情報を教えてもらっています。

小規模多機能
ここさいむら美の里
こんの ゆみこ

今野 由美子さん

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

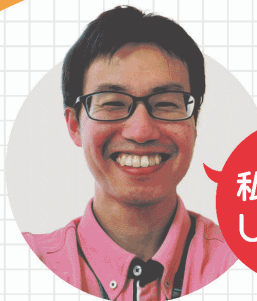
長く美の里で働いてこられたのは管理者が庄司課長だからと思っています。いつも見守ってくださりありがとうございます。冗談でほっこりさせてくれるおちゃめなところも大好きです。これからもよろしくお願いします。



「ここさいむらいろは」

私の事業所のココが自慢!

仙台市太白区で認知症ケアを行う「ここさいむらいろは」。
管理者の渡邊さんは「認知症介護は、個々への最適な対応を行うのが大切」と話します。
きめ細やかなサービスの秘訣は、職員の団結にありました!



私が紹介
します!

ここさいむらいろは
管理者/係長代理
わたなべ たくや
渡邊 拓也さん

01 「ここさいむらいろは」 ってどんなところ!

認知症ケア専門!お泊まりも可能な通所施設

認知症対応型のデイサービスを提供しています。また、介護保険外でショートステイ(宿泊サービス)も行えるのが特長です。メンバーは全員で11名。全員が介護職員として登録されているほか、そのうち管理者1名、相談員3名、看護職員2名、機能訓練指導員2名が介護と兼務しながら業務を行っています。

ご利用者の定員は24名。1単位12名のユニットが2フロアある形で、1日平均9~10名程度の利用があります。お風呂は個浴の浴室が2つ。家庭的な環境のなか、職員と1対1で入浴できる設備になっています。



▲カラオケを楽しむご利用者



▲レクリエーションの様子

02 ココが自慢!

気持ちに寄り添うケアがポイント

少人数で、一人ひとりの状態に合わせたケアが行えるのが最大の強みです!認知症にもさまざまなタイプがあり、症状によって最適な対応は変わってきます。なかには、食事や入浴をすべて介助しなければならない「全介助」の方も。ご利用者の認知症状や介護度、そのときのお気持ちに合わせたケアを行えるのは、当施設ならではの強みです。

また、デイサービスの施設でショートステイが行える点も大きなメリット。認知症デイサービスでショートステイが行える施設は多くないため、別々の事業所を利用する方もいるのです。認知症ですと、慣れない環境で過ごすことが苦手な方もいますので、いつもと同じデイサービスで宿泊ができるのは利点だと言えるでしょう。



03 「他の事業所に負けなし!!」 という魅力

多様な職員も、ご利用者のために一致団結!

職員がそれぞれの思いを全員で共有しながらケアに繋げていけるところが、「ここさいむらいろは」の良いところです。職員の年齢層は20代~60代まで幅広く、各々が違った価値観や考え方を持っていますが、お客様に寄り添いたいという気持ちは皆同じ。お客様にとって最適な方法は何か、話し合いながら追求していき、ケアに活かせる関係性を築いています。

04 今後の目標

地域との絆を再発掘

地域密着の運営を強化していきたいと思います。当施設ではもともと地域密着型サービスを提供しているのですが、コロナ禍で地域との関わりが希薄になってしまっていました。これからは町内会や地域包括支援センター、地域の集まりなどに少しずつ顔を出して行って施設をアピールし、介護の困りごとを聞き取りながら、地域と連携していければと思っています。



▲皆でトランプ

05 一緒に働く皆さんの メッセージ

ご利用者にとって最適なケアは何なのかをともに考え、高めあっていきましょう!管理者としては、働きやすい環境づくりをさらに進めたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします!

笑顔を作る

賞賛・承認大作戦

通信
vol. 5

皆さんの投稿・投票によって行っているこの企画！
今回は小規模多機能ここさいむら美の里で行われた
「和太鼓集団TAO」の演奏会の様子をお届け！
松本さんのお話からも、その力をあらためて感じる
貴重なひとときだったことが伺えます！

投稿者

小規模多機能

ここさいむら美の里
管理者/課長

しょうじ ともこ

庄司 智子さん

投稿日:2023.4.8

和太鼓集団TAOが来た!



震災以降毎年、多賀城の各地域の公民館などで演奏を披露してくれていた「TAO」が、4年ぶりに多賀城に来てくれました。しかも、美の里のそばの公営住宅の集会場に！これは早速行かねばと、今日通ってぎていた美の里のご利用者全員を連れ参戦。「ただいまぁ!」「お帰りなさい!」の挨拶で始まった演奏会。最初は大きな太鼓の音に椅子から飛び上がりそうになったり、驚いて涙目になったりとプチパニックを起こした方もいたものの、徐々に太鼓に合わせて自分の膝を叩き、体を揺すり、全身で太鼓の音に酔いしれていきました。後半は皆と一緒に太鼓の演奏。TAOの皆さんに手伝ってもらいながら、力いっぱい和太鼓を叩き、腕を振り上げ、かけ声を一緒に叫び、本当に久しぶりに地域の住民の方たちと大騒ぎ。楽しい楽しい時間を過ごしました。協力してくれたスタッフの皆さん、ありがとう!明日は多賀城駅前の広場で演奏するらしいよ。

松本さんにも伺いました!

ご利用者の反応は?

酔いしれながら黙って聞く人あり、「これはいいね」と感想を言う人あり、リズムに乗ってハッスルする人あり.....。そんな8名全員に共通していたのは全身に太鼓の音を浴びながら、楽しそうだったこと。
そして、後半の和太鼓の演奏体験! TAOの皆さんのサポートで力いっぱい和太鼓を叩いて、皆と一緒に腕を振り上げ、かけ声を叫んで、気分はずっきり爽快!しかも、本当に久しぶりに地域の住民の方たちとも交流しながら笑顔で騒げて。ご利用者が満面の笑みで心から楽しそうにしている、私たちもウキウキ、嬉しい限りでした。

ご利用者に楽しんでいただくため、普段から心がけていることは?

私は介護士の仕事を「遊んでナンボの世界」と思っています。ご利用者と楽しく遊び、ご利用者に「今日も良かった!」と思って帰ってもらうことが一番大切だと思うのです。心がけているのは常にご利用者に楽しんでいただくこと。「TAOが来る!よし、行こう!」と今回、即断即決で動いたこともそうです。そして、1人でも多くレクリエーションに参加してもらえるよう、ご利用者への積極的なお声がけを意識しています。



小規模多機能
ここさいむら美の里
介護福祉士

まつもと よしこ
松本 美子さん

スタッフの皆さんへメッセージ

皆さん、いつも未熟な私を助けてくれて本当にありがとうございます。これからも一緒に「美の里さんに頼めば大丈夫」と思ってもらえる施設づくりに励んでいきましょう!

働くママに聞いた！ 仕事と子育てを両立するコツ！

ここみケアで働く2名のママ社員に、仕事と子育て両立の秘訣をお伺いしました！
ここみケアはママ社員が安心できる環境が整っている！？

コツ01.

オンオフの切り替えを心がける

今は短時間の4時間45分の勤務をしているので、オンオフの切り替えを意識しています。職場では仕事だけ、家では家事育児のことだけを考えて、メリハリをつけています。

コツ02.

子どもに合わせて働き方を調整する

1人目の子が生まれたときは9時～17時勤務でしたが、子どもが寂しがって泣いてしまうことも……。9時～16時に変更し、2人目の産前休暇に入るまではその時間帯で勤務しました。2021年の10月より、扶養内に収めるために、4時間45分の勤務に変更してもらいました。こちらの都合に合わせて勤務時間の変更に対応してくれる職場なので、とても助かっています。



小規模多機能
ここさいむら美の里
介護福祉士

いとう さおり
伊藤 沙織さん



これからママパパ社員になる方へ

ここみケアで提携している「もりのなかま保育園」を利用させていただき、とても助かりました。また、小規模園のため手厚くサポートしてもらい、さらには病児保育も整っており、仕事に穴を開けずに働くことができました。お母さんにも休みが必要という理由で、保育園を利用することもできます。保育料金も、市町村と比較して優遇されていると思います。とても良い制度なので、利用をおすすめします！

コツ01.

家事はできるときにする

最近は娘を寝かしつけるときに一緒に寝て、できるだけ睡眠を取るようになっています。娘のペースに合わせて生活をして、家事は完璧でなくても、できるときに行うというスタンスです。

コツ02.

頼れる人に頼る

両親や友人、職場の方たちなど、頼れる人には思いっきり頼ります。職場では、ちょっとした悩みや子育てのことを話して、自分の中に溜めないようになっています。親身になってアドバイスをくれるので、うまくストレス発散ができています。



娘は好奇心旺盛で、とにかくよく食べます。
今はイヤイヤ期……。
機嫌を損ねると泣き叫ぶので大変です。



訪問看護ステーション
sora
看護師

すずき みさき
鈴木 美咲さん



これからママパパ社員になる方へ

妊娠がわかってすぐに、総務や部署の管理者の方から時短勤務ができることを教えていただきました。相談しやすい環境なので、遠慮することなく時短勤務を続けることができている。働きやすい職場であることをこれから育児休業に入る方に伝えていきたいと思っています。

